

# Program

## 1. 9/23 (木・祝) 10:30-16:30

### 写真を撮る事とは どういう事？

写真の成り立ちから現在までを知る事で「写真とは？」を考えます。これまでに撮った自分らしいと思える写真を持参、みんなに説明します。自分が撮った写真の伝わり方や、他者が撮った写真についての感じ方を知ります。撮りたい写真やなぜ撮りたいのかをディスカッションします。

**会場** (橿原市)奥大和移住定住交流センターengawa

## 2. 10/17 (日) 10:00-17:00

### 撮る事を通して発見する。

第1回で得た事を踏まえ、芸術祭「MindTrail奥大和 心のなかの美術館」に行き撮影を行います。アーティストの作品や場所を通して自分の心の動きや気づきを感じ取り撮影をしてみましょう。

**会場** MIND TRAIL 2021(曾爾村、もしくは天川村)

## 3. 11/7 (日) 11:30-16:30

### 撮った写真を みんなに見せる。

第2回で撮った写真をセレクトしディスカッションします。撮影時の気持ちを思い出しながら、テーマや方向性を分類してみましょう。

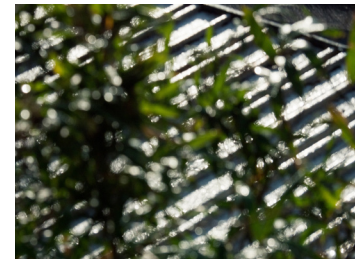
**会場** (橿原市)奥大和移住定住交流センターengawa

## 4. 12/5 (日) 10:30-16:30

### 今回の講座で撮った写真を まとめてみる。

これまでに撮った写真でテーマやタイトルを考え、まとめてきたものを発表し参加者みんなで講評します。言葉にできる事やできない事を感じ取り、そして写真にできる事を再確認し今後のそれぞれの写真活動に活かします。

**会場** (橿原市)奥大和移住定住交流センターengawa



講師

西岡 潔 (写真家)

<http://www.nishioka-kiyoshi.com>

1976年、大阪府生まれ。写真家。2016年、東京から奈良県東吉野村に住まいを移し、自然・風景・建築・人などを撮影しながら、日々「場と間と関わり」をテーマに作品を制作している。2018年より、移住者のクリエイターらが設立した「合同会社オフィスキャンプ」に所属。日本全国の中山間地域をフィールドに、書籍・雑誌・コマーシャルといった分野で幅広く活動を行っている。

講座運営費

20,000円(税込) ※全4回

※参加お申し込みのキャンセル・代金の払戻しはお断りいたします。あらかじめご了承ください。

定員

6名(先着順) ※開催最小人数4名

※定員になり次第、募集締め切り

持ち物

デジタルカメラ

(デジタル一眼レフカメラ、ミラーレス一眼カメラ)

※コンパクトデジタルカメラ、スマートフォンは不可

※撮影後ディスカッションをするためデジタルカメラに限る

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、オンライン開催となる可能性があります。Zoom等のビデオ会議ツールが使える、PCやタブレット、スマートフォンをご準備ください。

参加条件

●奈良県在住で奥大和に関心のある方、また今後奥大和地域で積極的に活動したいと考えている方。

●講座全4回受講可能なこと

※奥大和とは、奈良県の南部・東部に位置する19市町村を指します。※奈良県外にお住まいの方で受講を希望の方はご相談ください。

●使用しているカメラの使い方とシャッタースピードと絞りの関係性を理解していること。

●第1回目に自分が今までに撮った写真(または興味のある写真)のデータか、プリントA4サイズor八つ切りサイズ以上(データよりもプリントがこのましい)を10点以上持参できること。

※カメラの扱い方や撮影技術を教える講座ではなく、写真を通してご自身の表現力を高めていただくための講座です。

※多くの人に評価される写真や、他人に認められる写真を追求する内容ではありません。

応募方法

下記応募フォームよりお申し込みください

<https://forms.gle/P8adgT2Tj9hEbzPWA>



※本講座は新型コロナウイルス感染症の予防対策を行って実施します。

参加者の皆さまには、マスク着用をお願いします。

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、講座内容や会場を変更する場合がございます。



奈良  
奥大和で  
学ぶ。

Kiyoshi Nishioka

What are you looking at?  
What did you feel?  
What do you want to talk about?

写真家・西岡 潔

# 撮ると見えてくる写真講座 2021

—— 自分を知るために ——

あなたには、何が見えていますか？ 何のために写真を撮っていますか？ 誰もが気軽に写真を撮れるようになった今、あまりに気軽な存在になりすぎて、写真は以前よりも“ただ撮る行為”になってしまうことが増えたように思います。でも、その“行為”の中に、実はあなたが気づいていない“動機”や“発見”が隠れているのです。気持ちの変化や動きを感じることで、自分なりの写真が撮れるようになります。そして、自分なりの写真が撮れることは、自分自身を知ることにもつながります。誰もが発信できる時代だからこそ、あなたの感じ取った写真で、社会とつながってみませんか？  
そして、自分の写真や人の写真を見て、何を伝えたいのか何を見ているのか、いろんなものを感じ取ってみましょう。